

司 会 安田 会場監督 点 鐘 牧野 会長  
国歌斉唱

ロータリーの目的／四つのテスト

ゲスト

会長報告

■誕生祝

二口 真 さん (12/12・63才)

勝山 英和 さん (12/14・59才)

中山 士門 さん (12/18・47才)

飴谷 清 さん (12/19・84才)

宮重 光男 さん (12/19・51才)

幹事報告

■6 番テーブルミーティング

⇒本日 18:30～ ジビエ料理きくち

(送迎タクシー利用はHNオータニ高岡 17:50 発)

委員会報告

■雑誌委員会…ロータリーの友紹介 (竹田委員)

＜ ニコニコBOX 9件 26,000円 ＞

牧野会長／渡辺さん卓話よろしくお願ひいたします。  
楽しみにしています。

中野副会長／本日の卓話、渡辺さんよろしく。

坪田幹事／渡辺さん 本日卓話よろしくお願ひします。

四津谷君／武田信玄は徳川家康との戦い、三方ヶ原の戦いで息子の勝頼に対し「勝者はまず勝ちて、しかる後に戦いを求め、敗者はまず戦えて、しかる後に勝ちを求む。わっぱよ。戦は勝ってから…始めるものじゃ」と泰然と語ったそうです。信玄の言葉は『孫子の兵法』で合戦とは、事前に決まった勝敗を確認する場に過ぎないというわけです。今、中国とやり合って勝ち目はありません。しかし向こうも苦しい事情があります。それを考えネゴシエートできるかが勝負の分かれ目。すでに戦争は始まっているのです。

山岡君／昨日、経政会の最終例会を無事終えることができました。山下会長をはじめ皆様のおかげで総務幹事の大役を終えました。飲みすぎて自宅で転んで手足とおでこが痛いです。皆様も忘年会シーズンですのでご自愛ください。

二口君／誕生祝をいただき有難うございました。

勝山君／誕生日祝ひいただき、ありがとうございます。

中山君／お誕生日お祝ひをいただき、ありがとうございます。

北野君／皆出席表彰いただきました。ありがとうございました。

12/9 5 番テーブルミーティング 18:00～丸尚



**会員卓話**

『箱根駅伝トリビア』

渡辺英俊会員

卓話の冒頭、自己紹介をします。まず、「渡邊恒雄の血族ではありません」。新宿生まれ。育ちは埼玉。高校は埼玉県立川越高校で、文化祭での『男のシンクロ、ウォーターボーイズ』で有名です。ノーベル物理学賞梶田隆章氏らを輩出しています。早大時代には 60 種類以上のアルバイトに励み、休みにはバックパッカーで世界探検に出ていました。1990 年読売新聞社販売局に入社し、箱根駅伝では、「駅伝広報車」で東京-箱根間を往復していました。ということで、本日のテーマは「箱根駅伝トリビア (豆知識)」となります。

《箱根駅伝基本情報》として、正式名は「東京箱根間往復大学駅伝」。弊社本社ビルから箱根町芦ノ湖まで、往

復 217.1 ㌾を 10 時間 40 分台でランナーが駆け抜けます。来年正月の 2 日 3 日開催が第 102 回となります。

《トリビア 1》箱根駅伝の発案者は、「いだてん」の金栗四三で、日本の長距離選手を育成するための「アメリカ大陸横断駅伝」の予選会として開催しました。

《トリビア 2》箱根駅伝は地方大会。関東学連加盟校のみが参加できます。

《トリビア 3》テーマ曲はジブリ作品で有名な久石譲が作曲。2009 年の第 85 回大会から使用しています。

《トリビア 4》「箱根駅伝」はロゴと共に読売新聞東京本社の登録商標です。

《トリビア 5》1987 年第 63 回大会から日本テレビが中継開始。中継スタッフは 1000 人体制。長時間に及ぶため、テレビクルーは紙おむつ着用とのことです。

《トリビア 6》応援小旗は特製品。沿道観戦者は往路復路で 100 万人超。以前は全ての沿道で配っていましたが、現在はスタート地点、中継点、ゴール地点のみで配布しているレア物です。

《トリビア 7》読売新聞本社前に記念銅像あり。第 90 回大会を記念したモニュメントで、歴代優勝校の銘板も設置されています。

《トリビア 8》1956 年 12 月、専修大学の選手が 5 区試走中に交通事故で亡くなったため、コースの試走は禁止されています。

《トリビア 9》5 区区間賞校が総合優勝に有利。5 区が最長区間であった第 82 回から第 92 回までの 11 年間では、5 区の区間賞校が 10 回往路優勝を果たし、うち 7 回総合優勝をしています。「箱根の山登り」は大きなタイム差が生じるため、各校の監督が重視するようになり、『山の神』が誕生しました。“新山の神”の柏原竜二さんには「黒部名水マラソン」で会えます。

《トリビア 10》往路 5 区復路 6 区宮ノ下「山田屋」の大社旗に注目してもらいたい。私の入社試験面接官であった山田氏の実家です。

《エピソード》箱根駅伝を題材にした小説、「風が強く吹いている」三浦しおん著、「俺たちの箱根駅伝」池井戸潤著、がお勧め。ご当地ランナーにも注目していただきたい。今年の 101 回大会では富山県出身ランナーが 3 人いたが、来年 102 回は日体大 4 年の二村選手のみがエントリーされている。

以上、拙い卓話でありましたが、最後までのご清聴ありがとうございました。